

1、開催当日

会場は仙台市地下鉄東西線の「青葉山」駅から徒歩5分程度、学生・研究者のみなさん、バス、タクシーが行き交う東北大学キャンパス内です。ちょうどきれいな紅葉時期で写真をパチリ。17時を過ぎたころから講義室に人が集まり始めました。受付前にはパンフレット類が並び、壁には「東北のダムカード」「東北のダムカレーマップ」が掲げられています。無料でサンドイッチとお茶のサービスがありました。



キャンパス内の様子



会場の講義棟



受付場所の状況



掲示されたダムカレーマップ

2、概要およびプログラム

(1) 日時：平成30年11月2日（金）18:00～21:00

(2) 会場：東北大学青葉山東キャンパス F01人間・環境系教育研究棟

(3) プログラム：

開会挨拶 ダム工学会会長 田代民治氏

夜凵1 「長井ダムツーリズム」

NPO 最上川リバーツーリズム会長 佐藤五郎氏

夜凵2 「ダムだって輝きたい」 夜空に浮かぶライトアップ

ダムマイスター kazu_ma氏

夜凵3 「津軽ダムツーリズム」

西目屋村村長 関 和典氏

夜凵4 「私の愛した 長井ダム、津軽ダム」

ダムマイスター 谷田広樹氏

夜凵5 「洪水吐き、いろいろ」

国立研究開発法人土木研究所 箱石憲昭氏

閉会挨拶 土木学会岩盤力学委員会幹事長 東北大学教授 京谷孝史氏

3、開会挨拶

施工の立場でダムに関わってきた方です。異常気象による想定外大雨でダムはたまたま放流。「洪水はダムの影響」という一部の報道に大変心傷めているようでした。「24 時間・365 日、ダムに水をためるか、流すかを、気象を



田代民治 氏

観てきちっと人間が操作しています。

そんな大きい支えの恩恵で今の日常が

あることを知ってもらいたい！」**ダム好き会長の熱い訴えで WDN スタート。!!**

夜嘶1 「長井ダムツーリズム」

山形県の水に関わるスペシャリスト。NPO 活動で「ながい百秋湖（長井ダムのダム湖）」をボートで案内（2 時間コース）しているとのこと。1 シーズンで 2000 人超の観光客で予約満杯だそうです。「ながい百秋湖は四季折々の楽しみがあり、人と人を繋ぐ新たな観光拠点づくりを目的」に活躍されているとのこと。お話しぶりから日々の感動が伝わってきました。



佐藤五郎 氏



ダム湖案内の様子

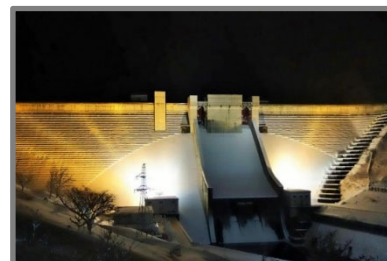
夜嘶2 「ダムだって輝きたい」 夜空に浮かぶライトアップ

長井ダム冬景色フォトコンテスト入選をきっかけに写真を通してダムの魅力を伝承している方です。月山ダム、津軽ダム、早池峰ダム、寒河江ダム、森吉山ダム、鳴子ダム、七ヶ宿ダム、小玉ダム…と東北地方のダムが次々と紹介されました。思い出深いのは月山ダムだそうで、朝日村にあや



kazu_ma 氏

かって半円模様と後光のような放射状のライトアップが象徴的です。村長さんからもお褒め頂いたとか(^_^)。「ライトアップしてくれるのは作った甲斐あるけど施工はメチャクチャややこしいなー」とは田代ダム工学会会長の言葉。これからも



月山ダムのライトアップ

ダムのような観かたを紹介いただきたいと思います。

夜嘶3 「津軽ダムツーリズム」

完成した津軽ダムを如何に使い観光客を西目屋村へ呼ぶか、ということに取り組んでいる村長さんです。ダムとダム湖における環境学習、周辺環境保全、イベント開催、文化伝承など、ダムが来て村無くなるんじゃなく、ダムを造って栄えようといういろいろな取り組みが紹介さ



関 和典 氏

れました。「津軽ダムを造るには簡単なことではなかったが、完成したダムは発注者・施工者そして地元住民ともみんな良かったと思うダムです。これから造る他のダムもそうあってほ



しい！」と夢いっぱい村長さんでした。

津軽白神ダムと水陸両用バス

夜嘶4 「私の愛した 長井ダム、津軽ダム」

元国土交通省（建設省）に勤務されダムマイスターとして活躍中。長井ダム工事事務所長、津軽ダム工事事務所長を歴任されました。建設地の人々には「ダムを造りに来たわけではない。湖を作りに来た」と言ったとが。そのダムにしかない美しさを追求されたようで、スリムな橋脚、ガラス張りのゲートハウス、デザイン性あるエレベーター塔、おしゃれな管理棟など、津軽ダムは直轄ダムで初めての2017年グッドデザイン賞を受けたそうです。費用は要したものの「お金でカウントできるものではない」と美を追求しこだわる熱いお話しぶりは、まるで本当に現地で案内されているように感じました。



谷田広樹 氏



津軽ダム

夜嘶5 「洪水吐き、いろいろ」

ダムの水理関係に携わって来た方で現在は土木研究所に勤務。ちなみに洪水吐きとは「洪水の流入に対しダムと貯水池の安全を確保するための放流設備の総称」だそうです。洪水吐きはダムの顔つきを決めるもので、洪水をたくさん貯めたい、放流時はたくさん流したい、



箱石憲昭 氏

ゲートは小さくしたい、放流管にしたい etc. と機能的、力学的、水理的、経済的と様々な要因を尽くして設計された歴史があるそうで、今は標準型にたどり着いた、とのこと。それら試行錯誤の過程にあったダムが多くは東北地方にあるそうです。

閉会挨拶

【with Dam☆Night in Sendai】は今回で三回目を迎えました。いろいろな視点で斬りありましたが、ダムを造る人、使う人、ダムを愛する人、ダム湖を愛する人、運営して守る人、と関わり方はそれぞれです。そんな私たちの日常生活を支えてくれている人たちに感謝致します。**来年も開催することを宣言して閉会されました。**

(土木学会岩盤力学委員会幹事長 東北大学教授 京谷孝史 氏)

5、最後に

金曜日の夕方から夜にかけて、100人を超す人たちが最後まで席を立つことなく、夜斬りに聞き入り、また、熱意が伝わる講演者の方々に驚かされました。また、後日地元紙（河北新報）にも記事掲載されました。



（第三種郵便物認可） 【新刊月きめ定価3,020円（本体価格2,854円 消費税266円）】1部売り税込1,407円 河北新報 2018

ダム人気 水位上昇中

東北でダムの人気が高まっている。仙台市内では今月上旬、ダムの愛好家が集い、魅力語り合っというイベントが開かれた。高く盛り上げた観衆を捉えた見立てたダムカレー、現地には熱い手土産のダムカードも販売された。熱心なファンが訪れる新たな観光地としての期待も高まる。

東北

「ダムは外せません。放射状に広がるサイトに映らされた月山ダム（鶴岡市）の姿が映し出されると、参加者からはスクリーンに視線を注いだ。東北大青葉山キャンパス（仙台市）で2日夜に開かれた「ウェスタムナイトin仙台」。会場に集まったのはスツ姿の男や土木工学を研究する大学院生ら約100人。女性の姿もあり、前回（昨年10月）の約50人を大きく上回った。

参加者が次々と東北のダムの魅力を熱く語り、仙台市の建設コンサルタンツ会社に勤める日本ダム協会（ダムマイスター）でもある谷田広樹さん（60）は、建設に携わった津軽ダム（青森県西目黒村）や長井ダム（長井市）への思いを語り聞かされた。

谷田さんによると、水をためるとい

催しやカレー、カード 新たな観光資源 期待大

ダムは新たな観光資源として注目を集める。仙台市内では今月上旬、ダムの愛好家が集い、魅力語り合っというイベントが開かれた。高く盛り上げた観衆を捉えた見立てたダムカレー、現地には熱い手土産のダムカードも販売された。熱心なファンが訪れる新たな観光地としての期待も高まる。

ダムは新たな観光資源として注目を集める。仙台市内では今月上旬、ダムの愛好家が集い、魅力語り合っというイベントが開かれた。高く盛り上げた観衆を捉えた見立てたダムカレー、現地には熱い手土産のダムカードも販売された。熱心なファンが訪れる新たな観光地としての期待も高まる。

ダムは新たな観光資源として注目を集める。仙台市内では今月上旬、ダムの愛好家が集い、魅力語り合っというイベントが開かれた。高く盛り上げた観衆を捉えた見立てたダムカレー、現地には熱い手土産のダムカードも販売された。熱心なファンが訪れる新たな観光地としての期待も高まる。